

会社	会社名	味の素株式会社		
概要	従業員数	3,477人（2016年3月現在）	業種	製造業

1. ねらい

「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」の実現に向け、性別、国籍、価値観等に関わらず多様な人材が活躍する会社を目指し、「ゼロベースの働き方改革」に取り組み、「ダイバーシティ&WLB」を加速させる。

<目指す姿>『1日7時間労働を前提としながら新たな価値を創造するグローバル基準の働き方』

<重点施策>2020年度までに**1日の所定労働時間を7時間へ短縮**（現在7時間35分）

2. 施策内容

(1) 2020年度数値目標

- ①総実労働時間：1,800時間以下
- ②有休取得日数：20日（100%取得）

(2) 重点施策

①所定労働時間の短縮

これまでの働く慣習をゼロベースで見直すため、所定労働時間を2017年4月に20分、2020年度までに更に15分短縮し7時間にする。

②経営、組織、個人の目標化

全社一体となり、経営戦略として「働き方改革」に取り組むため、経営、組織、個人の全てで時間生産性向上の取組みを目標化している。（評価に繋がる仕組み）

③経営主導のマネジメント変革

経営主体の「働き方改革」プロジェクトを立ち上げ、全社のルール、仕組みの変革を図る。また、職場ごとに課題を抽出し、改善策を検討する職場課題検討会を全職場で実施する。

(3) その他施策

- ・最終退館時刻前倒し：本社の最終退館時刻を常時20時、週1回18時に設定し、自動消灯
- ・モーニング無料提供：朝型勤務を推奨し、焼き立てパンや果物、曳きたてコーヒーを無料提供
- ・フレキシブルワーク：在宅勤務、コア無しフレックスタイム、時間単位有休の導入
- ・WLB休暇：有休以外に土日とあわせて5日連続で休める特別休暇（有給）を導入
- ・男性育休の有給化：男性の育休推進策として15日営業日分を月次給与、賞与ともに有給化
- ・働き方計画表の活用：期初に月別の残業、有休取得の年間予定を計画し、毎月PDCAを実施
- ・ICTの活用：WEBカメラ活用やスケジューラー入力徹底による時間効率化
- ・スマート・オフィス：働きやすい環境の整備として、本社の食堂や各フロアレイアウトを刷新

3. 取組実績・効果

	総実労働時間	有休取得日数	備考
2007年度	2,039時間	13.9日	WLB向上の取組み開始前
2014年度	1,970時間	16.1日	在宅勤務、コア無しフレックスタイム等導入
2015年度	1,947時間	16.7日	モーニング開始、最終退館21時⇒20時へ前倒し

<参考：従業員の声>

- ・数年前に比べ退社時刻が大幅に早くなり、夕方以降を家族団らんや自己研鑽で有効活用できている。
- ・在宅勤務を活用することで、有休を使用しないで子どもの学校行事に参加できるようになった。
- ・働き方計画表を用いて計画的に働くことで、大幅に残業時間が減り、有休取得日数が増加した。